

(4) 実施内容

① 具体的取組み内容について

- a. 従来から各社で実施しているお客様に対する「声かけ（レジ袋の要・不要を聞くこと等）」及び「適正サイズのレジ袋の使用」等再徹底を図ることによりレジ袋削減に取組んでいます。

b. キャンペーンの実施

- イ. 「声かけ」等の徹底強化を図ることを目的に以下の取組みを実施いたしました。

- ・「レジ袋ご不要カード」を店内に設置。（2007年11月1日～2008年2月29日）

《実施地区》

実施地区	店舗数
東京都杉並区	191店舗
静岡県掛川市	42店舗
名古屋市緑区	65店舗
その他	11店舗
合 計	309店舗



- ・「レジ袋削減スタンドPOP」を全店舗（12社約42,000店舗）に掲示。（2008年7月7日～10月31日）

- ロ. 杉並区のレジ袋削減目標を達成（マイバッグ持参率60%）するため、杉並区と連携を図り「レジ袋ご不要カード」の設置、マイバッグの販売」を実施しています。

（2009年1月13日～6月30日）

《実施店舗（2008年11月末現在）》

会社名	レジ袋ご不要カードの設置	マイバッグの販売
㈱エーエム・ピーエム・ジャパン	11店舗	—
国分グループサービスチェーン㈱	3店舗	—
㈱サークルKサンクス	18店舗	18店舗
㈱スリーエフ	4店舗	4店舗
㈱セブン・イレブン・ジャパン	65店舗	65店舗
㈱デイトリーヤマザキ	5店舗	5店舗
㈱フリアリーマート	38店舗	38店舗
㈱ポプラ	7店舗	—
ミニストップ㈱	12店舗	12店舗
㈱ローソン	22店舗	22店舗
合 計	185店舗	164店舗



- c. 「環境月間（6月1日～30日）」、「環境にやさしい買い物キャンペーン（10月1日～31日）」の2ヶ月間を「レジ袋削減重点期間」として取組んでいます。

- d. レジ袋の削減率の高い会社・店舗等から取組み状況について報告いただき、各社の参考事例として提供しています。

② 一般消費者への告知方法について

- a. レジ画面・店内放送による簡易包装協力の呼びかけについては、各社毎に取組んでいます。
- b. 告知物等の掲示

- ア. 参加会社全店舗（12社約42,000店舗）に「協会統一ポスター（環境省・経済産業省後援名義借用）」を掲示しています。

- イ. レジ袋に「節約呼びかけ」文言を印刷しています。

※レジ袋に記載の文言は協会統一として「レジ袋ご不要の方はお申し出ください。」を記載しています。



2. コンビニストア各社の取組み

- (1) レジ袋の薄肉化
- (2) マイバッグの販売・配付 等